

至誠館大学

科目名	教育方法論(中・高)			コード		
英語表記						
担当教員名	貞末 俊裕			年度	平成28年度	
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2	
授業形態	講義	授業形式		履修形態	教職	
授業概要						
教育方法の歴史概観を学習し、どのような教育目的の達成のために教育方法が考究されたかを学ぶ。教育方法及び技術の基礎的な理論、学習指導の方法や教師としての在り方について理解する。教材教具や指導技術、学習方法の工夫や授業づくりの方法などについて学習し、実践力を身に付ける。						
到達目標						
教育方法及び技術について学ぶことの意義を理解する。 教育方法及び技術の基礎的な学びを通して、理論と実践の両側面から理解する。 様々な教育方法の考え方や技術を学び、教師としての基本的な力量・授業力を身に付ける。						
授業計画						
第1回	教育の方法及び技術を学ぶことについての意義を考察する。					
第2回	教育方法の歴史的概観(1): 19世紀までの教育方法について概説する。					
第3回	教育方法の歴史的概観(1): 現代における教育方法について概説する。					
第4回	教育方法の基本原理: 系統学習と問題解決学習、日本における教育方法の展開					
第5回	教育課程と学習指導要領について概説する。					
第6回	授業とは何か、学力とは何かについて考察する。					
第7回	授業理論、授業の設計と方法、授業形態の工夫について考察する。					
第8回	視聴覚メディアとコンピュータの活用について					
第9回	教材とは、教具とは、教科書の役割と扱い、教材研究と教師の力量について					
第10回	生徒指導の原理と内容、生徒指導と教科指導について					
第11回	教育方法と学校経営・学級経営、学習指導の工夫と学習指導について					
第12回	教育方法と施設・設備: 学ぶ場・生活する場としての施設・設備について					
第13回	授業計画と教師の力量形成、教員に求められる資質能力と校内研修とその役割について					
第14回	模擬授業: 授業を構想、指導案を作成、授業を実践する。					
第15回	授業評価の意義について					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
評価方法: 授業のまとめ、指導案の作成、模擬授業 評価基準: 教育方法及び技術について基本的な理論を理解し、実践的な指導力が身に付いているか。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			10	40	40	10
授業外学習		テキスト、教材				
		毎時間、講義用のレジュメや資料を配布する。				
参考書		受講生へのメッセージ				
キーワード						